

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の発表

病虫害発生予察特殊報第3号を下記のとおり発表したので送付します。

平成30年度病虫害発生予察特殊報第3号

平成30年11月6日

岡 山 県

1. 病虫害名 トルコギキョウ斑点病
2. 病原菌名 *Pseudocercospora nepheloides* (= *Peustomatis*)
3. 発生作物名 トルコギキョウ
4. 特殊報の内容 岡山県でのトルコギキョウにおいて斑点病の初発生を確認
5. 初発生確認月日 平成30年6月8日
6. 発生確認場所 岡山県南部
7. 発生面積 8.6a
8. 発生の経緯

平成30年6月に岡山県南部のトルコギキョウ栽培施設（1圃場）において、葉に黒～灰褐色のすす状の斑点を呈する株が確認された。岡山県農林水産総合センター農業研究所において診断したところ、病斑部位組織からの分離菌の形態等から、本菌は、*Pseudocercospora nepheloides* であり、病原性を確認した結果、本病は、本県未発生のトルコギキョウ斑点病であることが確認された。

9. 他県での発生状況等

平成20年に福岡県で初めて確認されて以降、平成28年に長崎県、高知県、熊本県、大分県および宮崎県、平成29年に和歌山県、平成30年に沖縄県、広島県、福島県、宮城県、島根県および千葉県で発生が確認されている。

10. 本病の特徴

(1) 病徴

はじめ、葉の表に5～10mm程度の退緑斑を生じ、後に葉の表裏に黒～灰褐色のすす状病斑（写真1）が形成される。

(2) 形態及び発生生態

糸状菌の一種で不完全菌類に属する。分生子座は濃褐色で直径は36.9～61.5 μm、分生子柄は単条で叢生する。分生子（写真2）は淡オリーブ色の円筒形～倒棍棒状、大きさは24.6～73.8 μm×2.5～7.4 μm、1～6の隔壁を有する。生態や伝染環についての詳細は不明であるが、育苗中および本圃で発生し、病斑上に形成される分生子により伝染、多湿条件で発生が助長される。

11. 防除対策及び参考事項

- (1) 多湿条件で発生が助長されるため、施設内の換気に努める。
- (2) 発生初期の発病部位の除去および除去部位が2次伝染源とならないように圃場外に持ち出して土中に埋没するなど適切な処分を徹底する。



写真1 すず状病斑



写真2 病斑上に形成された分生子

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。  
アドレスは、 <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

